

# 私立 跡見学園女子大学

取組名称 「地域協働キャリア支援による自立自尊の女性育成プロジェクト」

取組担当者 就職部 部長 大野 二郎

## 1. 本学の概要

本学は跡見学園開学1875(明治8)年90周年を記念して、1965(昭和40)年に開設され2010(平成22)年に創立45年目を迎える。創立以来、国文・美学美術史・英文・文化の4学科からなる文学部のみの時期が長く続いたが、2002(平成14)年、2006(平成18)年、2010(平成22)年と3度に亘り、時代環境の変化を見据えた大幅な改編と女子大学のイメージを一新する大学改革に取り組んだ。現在、文学部は4学科(人文学科、現代文化表現学科、コミュニケーション文化学科、臨床心理学科)体制になり、女子大では日本初となるマネジメント学部は3学科(マネジメント学科、観光マネジメント学科、生活環境マネジメント学科)と、2学部7学科で構成される。また大学院は人文科学研究科、マネジメント研究科の2科からなる。日本の教育者の草分けとなる学祖跡見花蹊の教育理念は、西洋の学問に加え、日本の伝統文化をも取り入れながら、知育のみにかたよらない情操教育を通じて、豊かな教養と高い人格を持ち、自由で批判力に富んだ精神を備えた近代的な女性を養成し、持って天下に有用な人材を送り出すことである。本学はこの花蹊の女子教育の熱き思いを、今日に継承し実現する大学である。



写真1 文京キャンパス 2号館

## 2. 本取組の概要

本取組は、本学が目指す自立自尊の女性育成を目指し、厳しい雇用環境の中にあっても学生に就職を諦めさせず、就職希望率及び内定率の向上を図ることを目的に実施するものである。就職活動が追い込みとなる4年生に対しては、短期間に集中的な就職特訓を行う。また、ヤングキャリアセンター埼玉等と連携した企業説明・面談会や、個別面談で専門的な指導員とアフターフォローを行う緊急対策を実施する。

これから就職活動を向かえる3年生以下の学生に対しては、個人の適性に応じたきめ細やかな指導体制を充実させ(卒業生進路掌握率100%)、地域企業とも連携しながら社会的・職業的自立を促す(就職希望率87%・就職内定率95%)ためのキャリア形成支援プログラムを導入する。

本取組を学長や各部館長等が毎週実施する執行部会議にて評価・検証するとともに、就職部が中心となって教員とも連携し、キャリア教育のFDも推進しながら、学生支援の充実と推進体制の強化に取り組む。

## 3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

### (1) 取組の趣旨・目的

#### (i) 全体

本学は社会で澁刺と活躍する自立自尊の女性育成を教育理念に掲げている。本取組では、まず未内定者を含む4年生の就職支援体制の強化を早急に行う。また、地域と連携した就職機会や大学教育における職業指導の機会の充実を通し、学生自身が将来の「夢」「やりたいこと」をイメージし、生き方を見つけるための支援を行う。

#### ①2009(平成21)年度

厳しい雇用環境の中にある4年生を中心とした未内定者の進路を早急に確保することを第一の目的とする。面接対策講座やグループディスカッション対策講座、筆記試験対策講座といった短期集中就職対策講座

## 事例 4 ◆ 跡見学園女子大学

の実施、及び地域と連携した合同企業説明会の開催により、就職希望率及び内定率の向上を達成する。

### ②2010(平成22)年度

厳しい雇用環境の中で就職活動に取り組む3年生と4年生を対象に、自立自尊の女性として社会的・職業的自立を獲得するための支援を行う。具体的には、自己の特性を把握した上で、自ら考え行動するメンタル力を向上させるEQ検査や講座を行い、学生一人ひとりの適性に応じたきめ細やかな指導を行う。またこれらの指導をふまえて、エントリーシートや履歴書の書き方講座、各種面接対策講座やグループディスカッション講座、筆記試験対策講座を行うことで、就職希望率と就職内定率の向上を図る。

### (2) 達成目標

本学では「跡見が大切にしたい3つの数字」として、「就職内定率」「就職希望率」「卒業生進路掌握率」による目標管理を行っている。

本取組においては、4年生を中心とした未内定者の学生に就職指導及び就職機会を短期集中的に提供し早急に進路を確保させる(就職内定率の向上)。また、3年生以下の学生に対しても、個人の適性に応じたきめ細やかな指導を行うことにより(卒業生進路掌握率の向上)、社会的・職業的自立を促し、自立自尊の女性を育成する(就職希望率・内定率の向上)。

## 4. 本取組の具体的内容・実施体制

### (1) 取組の具体的内容

#### (i) 2009(平成21)年度

短期集中就職対策講座として、改めて自らの就職活動を見直すことができる実践型の指導を行う。その上でヤングキャリアセンター埼玉等の地域と連携した合同企業説明会、面談会を実施し、未内定者の進路を確保する。また専門的な指導員と連携したフォローアップ面談を通し、指導を徹底する。

①短期集中就職対策講座として、進路が未だ決まっていない4年生を対象に、企業の選考過程において最も多面的に評価される面接とグループディスカッションについて実践形式での指導を徹底して行い、本番での緊張等による失敗を未然に防ぎ、学生が本来の力を自信を持って十分に発揮できるようにする。

②就職対策講座として、3年生を含む未内定者を対象に、就職活動の具体的な進め方、書類選考で正しく自己を表現する方法について講義を行い、厳しい本番

を迎える就職活動の取り組み方を再確認させる。実際の面接の場で「自分を飾らず、ありのままを表現する」ことができるよう、ロールプレイングでの訓練を行う。就職マニュアルに従った画一化された活動、マニュアルに囚われた画一的な表現から脱し、苦手意識を完全に払拭する。また、SPI2・CAB・GAB・クレパリン等、筆記試験での頻出テーマについて、解き方の解説とその練習を行う。筆記試験対策は、就職活動の初期段階で本来の自分をアピールできる面接に至らず不採用(足り)となる可能性を低減する。



写真2 筆記試験対策講座風景

③地域と連携して企業を集め、学内合同企業説明会を延べ10日間に渡り開催する。主に埼玉県と東京都に事業拠点を構える企業を一日3社招聘、会社概要と事業内容、そして具体的な採用スケジュールの説明を実施し、学生の採用面談への誘導を行う。「最後まで就職をあきらめない」という大学のメッセージを学生たちに継続して伝え、就職内定率の向上を図る。

表1 地域と連携した学内合同企業説明会

学内企研究会			
日程	10:30~11:30	13:00~14:30	15:00~16:30
2月17日	水		紳A銀行 銀行
2月18日	木	E紳 複合サービス	C(相 保健 D紳行 銀行
2月19日	金	F信用金庫 信用金庫	G紳 銀行
2月22日	月	Hホテル ホテル	Iシステム紳 紳社 銀行
2月24日	水	紳K 紳社	L販売紳 紳社 紳M ジュエリー
2月25日	木	紳N 紳社	O信用金庫 信用金庫 紳P 紳社
2月26日	金	紳Q 製造	紳R アパレル 紳S 製造
3月1日	月	T機材紳 紳社	U紳 アパレル 紳V 紳社
3月2日	火	紳W アパレル	X庁 公務 紳Y IT
3月3日	水	【合同形式】13:00~16:10 紳P紳社、紳Q紳社、紳Rアパレル、紳S紳社、紳T紳社、紳U紳社、紳V紳社、紳W紳社、紳X紳社、紳Y紳社	

④専門的な指導員と連携した個別指導や、求人企業とのマッチングを行い、進路確保を支援する。①~③の取組を受講した学生に対し、フォローアップ個人面談として、個別にエントリーシート・履歴書添削を行

う。また就職活動での失敗やその中で生まれた疑問を解決するため、個々人に合わせた指導を実施する。これらによって、学生個人の不安を払拭、自信をつけさせ、積極的な活動を促す。



写真3 専門的な指導員による相談風景

(ii) 2010(平成22)年度

地域とも連携し、学生一人ひとりの社会的・職業的自立を促すキャリア形成支援プログラムの充実・発展を目指し、以下を実施する。

①職業観を養うに当たり、学生は、自分自身の特性を正しく理解し、自らのキャリア形成への関心とモチベーションを高めることが必要である。また、学生を指導する教職員は、学生一人ひとりにきめ細やかな指導をするため、学生のメンタル面の特性を理解する必要がある。そのために、自己の強みや弱み等のコンピテンシーを測定できるEQ検査を実施する。

②EQ検査結果をふまえながら、EQや心理学を活用したメンタル力向上研修を実施する。自立自尊の女性として自ら考え行動する主体性を高め、採用過程において重視されるコミュニケーション能力を向上させる。

③就職活動の初期段階で課される就職筆記試験への対策として、専門講師による対策講座と、自主学習用のWeb学習環境の提供を行う。また、定期的実施される全国テスト(6月・2月)を受験、学習への動機付けや、学外の学習者との比較から、自らの習得状況を認識させる。これらにより基礎学力を高めるとともに、就職活動の初期段階で面接に至らず不採用(足り)となる可能性を低減し、就職機会を増やす。

④就職活動導入研修において、自らの職業観や志望する職種を熟慮する機会を提供し、それにマッチした企業や募集職種にエントリーする就活スタイルを身に付けさせる。またEQ検査と講座を通して深まった自己理解に基づいた、エントリーシートや履歴書の書き方を指導、添削等の振り返りや個人フォローアップ面談

を実施する。自らの職業観や志望する職種を熟慮する機会を提供することで、就職希望率を高めるとともに、就職活動や就職後のミスマッチを低減する。

⑤採用側の視点をふまえ、選考過程で評価されるための面接指導を行う。実践的かつ多面評価型(学生も他学生を評価することで気づきを与える)の面接対策、グループディスカッション対策を実施する。就職後にも役立つ能力として、自らの意見を主張する発信力やチームワーク力を高め、就職内定率を向上させる。

⑥地域と連携して参加企業を募り、学内合同企業説明会、面接会を実施し、学生の内定獲得を支援する。早期の進路先確保により就職内定率の向上とともに、地域の発展に貢献し得る人材の輩出を支援する。

(2) 取組の実施体制

学長が毎週実施する執行部会議の下、就職部が中心となり、教員とも密に連携しながら本取組を推進する。講座は専門の外部講師と連携し、一貫した支援を行う。合同企業説明会やキャリア教育プログラムでは、地域団体や企業と連携、より多くの就職機会等の提供に取り組む。なお教員とのキャリア教育における連携はFDとも合わせて推進する。

(i) 情報の積極的な提供

①他大学、連携企業、学生、保護者等向けに「学報」を年3回発行し取組内容の経過や結果を報告する。

②学生向けに「ザ・就職」を毎月発行し、常に新鮮な情報を提供する。

③教員向けに「就職部ニュース」を毎月発行、意識共有及び連携を促進する。

④執行部会議等の学内会議において、本取組の情報共有及び検証評価を行う。

⑤保護者向け説明会を実施する。

⑥文部科学省や私立大学連盟への取組報告を行う。

⑦学内ポータルサイトを活用した情報発信を行う。



写真4 保護者向けの説明会風景



5. 本取組の評価体制・評価方法

(1) 取組の評価体制

毎週実施する学長、副学長、各部館長が集まる執行部会議にて、本取組における各実施内容を逐次報告し、その進捗状況や効果の検証、評価を行い、継続的に改善しながら推進する評価体制とする。また全ての取組で学生にアンケートを取り、外部の専門家とも連携し、多面的な検証・評価を行いながら推進する。

(2) 達成目標に対する達成度についての指標

本学では「跡見が大切にしたい3つの数字」として、「就職内定率」「就職希望率」「卒業生進路掌握率」による目標管理を行っているが、2009(平成21)年度は就職内定率を残された期間で現状(約44%)より10%向上させることを目的として、最終的に47.8%増の91.8%まで向上させることができた。平成22年度は、「就職内定率」98%、「就職希望率」95%、「卒業生進路掌握率」は100%の維持を目標とする。



写真5 跡見学園女子大学「学報」

6. 本取組の実施計画等

(1) 実施計画

- ① 2月：集団面接実践講座やグループディスカッション対策講座等の短期集中就職対策講座の実施(4年生対象)
- ② 3月：エントリーシート・履歴書の書き方、面接対策、筆記試験対策講座等の就職対策講座の実施(3、4年生対象)
- ③ 2～3月：地域と連携した合同企業説明会、面接会の実施
- ④ 3月：未内定者のフォローアップ個人面談の実施
- ⑤ 4月：EQ検査(自己理解)の実施
- ⑥ 5～6月：メンタル力向上研修
- ⑦ 6～12月：筆記試験対策講座の実施とWeb筆記試験対策学習環境の提供
- ⑧ 6・2月：全国テスト
- ⑨ 7～3月：就職活動導入研修、エントリーシート・履歴書の書き方講座、個別指導の実施
- ⑩ 10～11月：各種面接対策講座、グループディスカッション講座の実施
- ⑪ 10～3月：地域と連携した合同企業説明会の実施

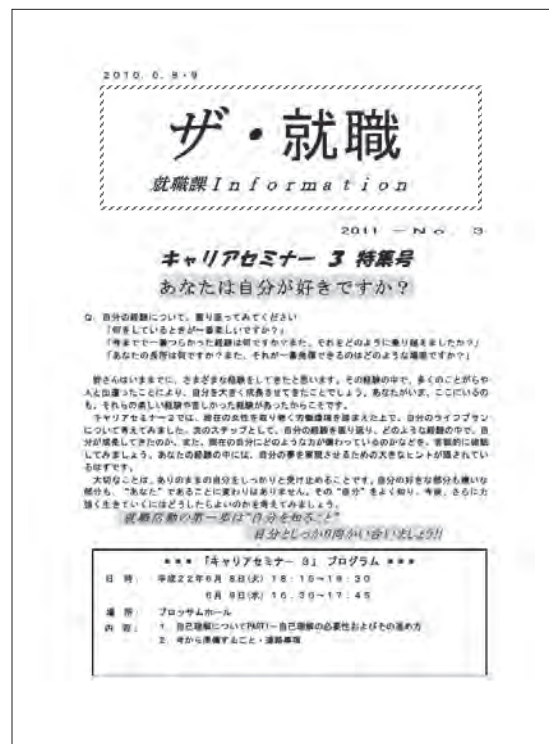


写真6 就職課発行「ザ・就職」